

輪

広報誌

Kitakyushu
Municipal Medical Center
COMMUNICATION PAPER

vol.86 | August 2022

ご自由にお持ちください

2023年 北九州市立医療センターは
誕生150周年を迎えます



がん特集

脳腫瘍について

FOCUS
リニアック更新

TOPICS
リンパ浮腫外来
カテーテルアブレーション治療

地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

北九州市 時と風の博物館より
紫川ナイト

紫外線は体に良い面と悪い面を併せ持っていますが、圧倒的に悪い面が多いと考えられています。一度に大量の紫外線を浴びると日焼けを起すし、少량でも長年浴び続けられれば、光老化が起こります。これは色素斑(シミ)、しわ、良性・悪性の皮膚腫瘍として歳をとってから現れます。

日傘、つばの広い帽子、長袖、長ズボンなどにより、皮膚に到達する紫外線をできるだけ減らすことが大切です。また、皮膚には最後の砦として日焼け止め(サンスクリーン剤)を塗りましょう。

サンスクリーン剤の主要成分として、紫外線吸収剤と散乱剤があります。吸収剤はUVB領域の紫外線をよく吸収しますが、UVAを効果的に

吸収する成分は限られています。散乱剤は酸化チタンや酸化亜鉛が主体で、UVBからUVA領域まで広く遮断します。以前は塗ると白くなる製品が多かったのですが、最近では改良が進み、使いやすいものが増えています。吸収剤はまれにかぶれを起こすことがあるので、かゆみや赤みが生じたら、ノンケミカルなどの吸収剤未使用と表示されている散乱剤だけの製品がよいでしょう。



紫外線・しみ予防



皮膚科 主任部長
廣瀬 朋子
ひろせ ともこ

標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肝臓外科	脳神経外科	眼科
肝臓内科	消化器内科	外科	胆のう外科	呼吸器外科	耳鼻咽喉科
血液内科	循環器内科	消化器外科	膵臓外科	心臓血管外科	放射線科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	食道外科	小児外科	病理診断科
心療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	胃腸外科	皮膚科	救急科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	整形外科	泌尿器科	麻酔科
		肛門外科	リハビリテーション科	産婦人科	歯科

基本理念

わたくしたちは
公共的使命を自覚し
心のこもった
最高最良の医療を提供します

基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

編集後記

広報誌「輪」編集長
高島 健

8月に入り記録的な暑さが続いています。コロナ禍ですが熱中症の予防も重要ですので、屋外で会話がほとんどない場合はマスクを積極的に外しましょう。
今号のがん特集では脳腫瘍を取り上げました。私が医師になった30数年前には存在しなかった三次元画像やナビゲーションシステム等々によって、手術後の脳機能温存を目指した安全で確実な手術が行われていることに驚き、医療の進歩を実感いたしました。



Kitakyushu
Municipal Medical Center
COMMUNICATION PAPER
vol.86 | August 2022

発行日 / 2022年8月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号
TEL 093-541-1831 (代表) FAX 093-533-8693
外来予約センター 093-533-8660
【月～金 9:00～16:30】紹介状または二次検診初診受付
ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>

ホームページ Facebook Instagram



※本誌では撮影用にマスクを外しています。

脳腫瘍

地域がん診療連携拠点病院(高度型)という当院の整った環境の中で、脳腫瘍部門を担当しています。脳腫瘍は頭蓋内腫瘍の総称です。原発性脳腫瘍は、WHO分類では、悪性のもから良性のものまで150種類程度に分類され、神経膠腫、髄膜腫などが代表的です。発生頻度は人口1万人あたり年間1〜2人とされ、様々ながん腫のなかでは「希少がん」の1つに分類されています。

診断のきっかけ

脳腫瘍の代表的な症状は、頭痛、言語障害、手足の麻痺、けいれん発作など、精査の過程で脳腫瘍が明らかになることがあります。一方、日本では、CT、MRIが諸外国に比較して各段に普及しており、

たまたま受けた検査で、無症状の脳腫瘍を指摘されることも多いです。

厳格な手術適応と最適な治療

脳腫瘍が見つかったからといって、すべての腫瘍に治療が必要になるわけではありません。病歴や画像所見から、おおよそ腫瘍の種類の診断はつくものです。

頭の手術は、皆怖くて、できれば受けたくありませんが、悪性腫瘍が疑われる場合は、手術を急がねばなりません。良性腫瘍でも大きなものは手術を要します。ただし、高齢者の場合は、寿命を考慮して(手術の適用について)慎重に検討します。良性的かつ無症状で小さなものは、治療の必要なく経過観察を行うのが一般的です。腫瘍の増大速度が速くなければ、経

北九州市立医療センター
脳神経外科 主任部長
塚本 春寿
つかもと はるひさ

過観察を継続し、速ければ手術を検討します。

一方、切開しない手術である定位放射線治療も普及しており、状況によっては、この治療を優先することを検討します。

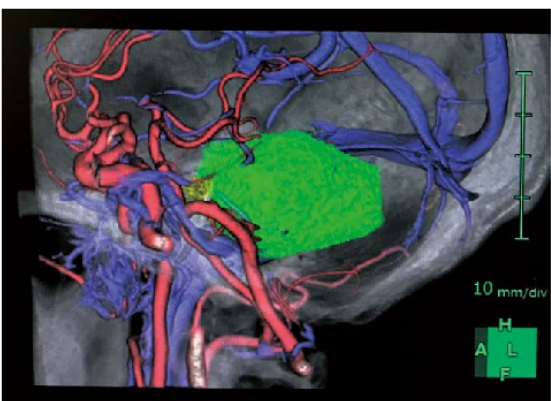
こうして、患者さん一人ひとりに最適な治療を行うことを心がけています。

安全で確実な手術

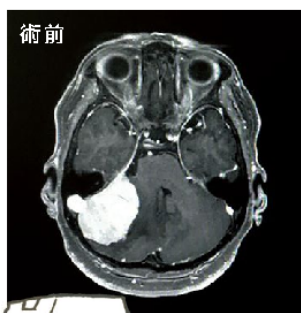
昭和20年末頃の初代教授が脳神経外科手術を始めた当時は、手術日が命日になるといわれていました。先達の幾多の困難な時代を経て、医療機器の発展と相まって、脳神経外科学が飛躍的に進歩し、今日では、安全に手術を行うことが当たり前になっていきます。そのため、様々な手術支援システムを取り入れています。

各科との協力

当院では多くの診療科が、がん治療に精力的に取り組んでおり、他院に比べて転移性脳腫瘍に関する相談が多くあります。血液脳関門の存在のため、多くの場合、化学療法が効きにくく、手術あるいは放射線治療を行うこととなります。各科主治医と相談し、患者さんにとっての優先順位を考えて、治療を計画します。脳転移はステージ4期にあたり、厳しい状況ですが、治療が奏功すれば、長期生存も得られますので、患者さんと共に前を向き、治療にあたりたいと思っています。



術前CT



術後

手術に際しては、術前にCT、MRIを融合した3次元画像を詳細に検討して、腫瘍と動静脈・神経との立体的な位置関係を把握します。

血流の豊富な腫瘍に対しては、手術時の出血を減らすために、可能であれば、術前に腫瘍血管の塞栓術を行い手術に臨みます。

手術中は、ナビゲーションシステムや超音波装置を用い、腫瘍の位置を正確に捉えながら手術を進めます。また、臨床工学技士とチームを組み、神経モニタリングを行い、手足の運動機能、視力、聴力、顔面神経機能等が正常に働いていることを確認し、安全を担保します。さらに、色素を用いた蛍光診断により、術野で腫瘍や血管を描出し、手術精度を高めます。

このように利用可能な術中支援システムを駆使し、機能温存を重視した安全で確実な手術を行うように努めています。

悪性腫瘍の場合には、術後に化学療法や放射線治療を追加することもあります。

PROFILE

塚本 春寿

平成30年度から当院脳神経外科の主任部長として、外来診療や手術等に尽力しています。神経機能の温存を重視し、それぞれの患者さんのQOLに配慮した最適な医療をこれからも提供していきたいと考えています。

- [専門医等] 日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本頭痛学会専門医 など
- [所属学会等] 日本脳神経外科学会
日本脳卒中学会
日本脳卒中の外科学会
日本頭痛学会 など

THEME

下肢リンパ浮腫の手術、 始めます

本年度より下肢リンパ浮腫の手術を担当させていただきますことになりました。形成外科医師の門田英輝と申します。リンパ浮腫についてお話をさせていただきます。

下肢リンパ浮腫とは、リンパ管の流れが悪くなることで足に生じるむくみのことです。多くは子宮がん、卵巣がん、前立腺がんなどに対するリンパ節の切除や、放射線治療、一部の薬物療法などが原因で起こります。

リンパ浮腫の症状として、むくみに伴う重さやだるさがあり、ひどくなると潰瘍や蜂窩織炎などの感染を起こすことがあります。リンパ浮腫は放置すれば病期が進行します。早期より適切な治療を行うことにより、浮腫を軽減し、進行を止めることが大切です。

リンパ浮腫の標準的な外科治療としてリンパ管細静脈吻合術があります。これは、流れの悪いリンパ管を近くの静脈へ吻合してバイパスする手術です。滞ったリンパ液を静脈に流すことで、浮腫を改善させます。圧迫療法などと組み合わせることで、より効果的なリンパ液の排出が期待できます。小切開で行えるため体の負担は非常に軽く、リンパ浮腫の程度がより軽い時期に行うほど、効果が出やすいとされています。

下肢リンパ浮腫に対して手術を含めた集学的治療を行っている施設は、九州地方ではまだわずかです。リンパ浮腫でお悩みの方は、毎週金曜午前のリンパ浮腫外来を受診してください。症状が軽い方、現在の症状がリンパ



2回のリンパ管
静脈吻合術後



術前

浮腫が分からない方でもご相談に対応いたします。よろしくお願いたします。



耳鼻咽喉科（形成外科）

門田 英輝

かどた ひでき

FOCUS

放射線治療部門 リニアック更新



放射線科 主任部長

野々下 豪

のした たけし

①画像誘導放射線治療（IGRT）
放射線治療装置に搭載されたCTを利用し、治療直前の腫瘍の位置を確認する方法で、高精度放射線治療に欠かせない技術です。乳房など形状に特徴がある部位では光学式カメラシステムを用いた体表面での位置合わせを行います。（図1）

②強度変調放射線治療（IMRT）
IMRTは病変に放射線を集中させ、正常臓器をさけて行う治療で、有害事象を抑えつつより良い治療効果が期待できる治療です。前回のリニアック更新後、回転しながらIMRTを行うVMATが可能となりましたが、今回の更新で2台ともVMATが可能となります。より多くの患者さんに有害事象が少なく治療中の負担が少ない治療が提供可能となります。（図2）

前立腺がんでは泌尿器科の協力のもと、直腸の有害事象軽減のための処置を導入しています。直腸と前立腺の間に Hydrogel を挿入し、直腸への放射線被曝を軽減します。（図3）

北九州市立医療センターでは、がん診療連携拠点病院（高度型）として放射線治療に力を入れて取り組んでおり、今後も高精度治療の適応拡大を検討しています。放射線治療に関してご不明の点などありましたら、ご相談ください。

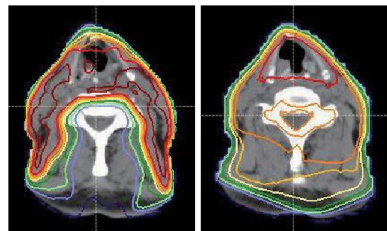


図2：IMRT 通常照射

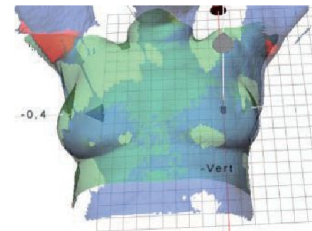


図1：体表面での位置合わせ画像

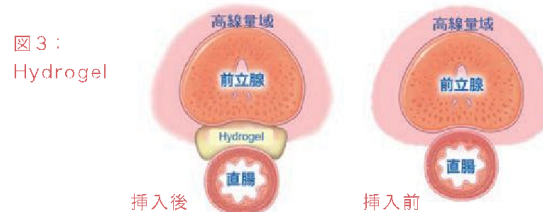


図3：Hydrogel

挿入後

挿入前

THEME

不整脈のカテーテル アブレーション治療

不整脈とは、心臓がうまくリズムをとれなくなっている状態です。動悸、胸部違和感等の症状がでたり、健診の心電図で偶然診断されたりすることもあります。不整脈には様々な種類がありますが、症状のために日常生活に支障がでる場合だけでなく、脳梗塞や心不全の誘因となる場合もあります。

不整脈には薬物治療をしますが、薬物治療に抵抗性、あるいは副作用などのために十分な薬物治療が難しい場合などに遭遇します。非薬物療法として、カテーテルという管を太ももの付け根や首の血管を通じて心臓に挿入し、不整脈の誘因となる部位に熱や冷凍凝固を加えて焼灼することで、不整脈を起さらないようにする「カテーテルアブレーション」と

いう治療が普及してきています。薬物治療単独より治療効果が高いという報告も増えてきており、発作性上室性頻拍、心房粗動、心房細動などが代表的な治療の対象です。治療のための入院期間は3泊4日で、手術時間は1.5〜4時間程度と、治療内容により変動します。術後6時間程のベッド上安静が必要で、退院後は通常の日常生活が可能です。

当院でも、九州大学循環器内科の不整脈専門医によるカテーテルアブレーション治療を2022年7月より開始いたしました。適応を含め、アブレーション治療を検討されておられるようでしたら、当科外来への紹介受診をお考えください。

治療への流れ

- [症状]
動悸・息切れ・意識消失等、不整脈の指摘あり
原因不明のBNP上昇の精査等
- ⇓
- 当院紹介受診・各種検査
- ⇓
- 不整脈の診断
- ⇓
- [治療] 薬、カテーテルアブレーション



循環器内科 統括部長

沼口 宏太郎

ぬまぐち こうたろう

センター紹介 / がんセンター

副院長 がんセンター長
尼田 覚 あまだ さとし



当院は市立小倉病院時代よりがんの治療を中心とした医療を提供してまいりました。2020年には厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」の指定を受けました。「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」はがん診療をリードしている、地域のがん診療を充実させることを使命としています。その使命を果たしていく活動をするのが、「がんセンター」になります。がんセンターでは福岡県がん対策推進計画に則り、九州大学病院、九州がんセンターと密に連携をとりながら、最新の医療提供やがんに関する各種の情報を発信してまいります。がんセンターにはがん相談支援センター、緩和ケアセンター、化学療法センター、がんゲノムセンターなどの部門があります。がんと診断されたら、またはがんが疑われたら、まずはがん相談支援センターにお立ち寄りください。早期からがんに関するいろいろな情報を提供させていただきます。がん専門相談員が常駐し、様々な相談に対応いたします。生活や就労での問題

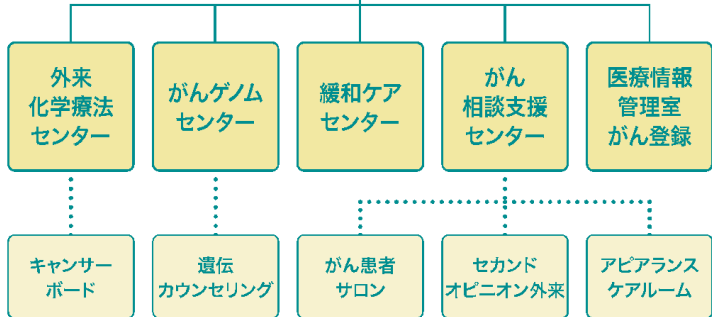
点解決、ご家族の支援などを行っていきます。また身体的・精神的苦痛の軽減のため、がんと診断されたら、早期より緩和ケアチームが介入し、がん患者さんを全人的にサポートしてまいります。化学療法センター、がんゲノムセンターでは最新の化学療法やがんゲノム医療を提供いたします。

これからも、がん患者さんが安心して治療を受けていただけるよう活動してまいります。



がん相談支援センター

がんセンター



各診療科

連携

連携

がん診療連携拠点病院連絡委員会

- 内科 横山 貴士 よこやま たかし
- 内分泌代謝・糖尿病内科 末次 亮子 すえつぐ りょうこ
- 内分泌代謝・糖尿病内科 林 加野 はやし かの
- 内分泌代謝・糖尿病内科 井形 公一 いがた こういち
- 消化器内科 塩月 一生 しおつき かずお
- 消化器内科 大角 真央 だいかく まお
- 外科 田原 有希 たはら ゆき
- 整形外科 安達 淳貴 あだち じゅんき
- 皮膚科 仲本 すみれ なかもと すみれ
- 皮膚科 水野 亜美 みずの あみ
- 放射線科 中武 裕 なかたけ ひろし



泌尿器科
持田 学
もちだ まなぶ



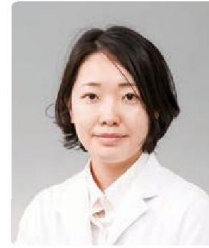
泌尿器科
澄川 涼太
すみかわ りょうた



小児外科
亀井 一輝
かめい かずき



消化器内科
近藤 悠樹
こんどう ゆうき



循環器内科
内海 杏香
うちうみ きょうか



呼吸器内科
古賀 祐一郎
こが ゆういちろう



心療内科
乙成 淳
おとなり じゅん



呼吸器内科 主任部長
原田 英治
はらだ えいじ



放射線科
山崎 修司
やまさき しゅうじ



放射線科
佐野 淳徳
さの あつし



放射線科
今福 輝
いまふく ひかる



整形外科
中川 航
なかがわ こう



外科
葛山 堅斗
かつやま けんと



外科
今村 柁紀
いまむら まさき



外科
竜口 崇明
たつぐち たかあき



外科
新川 智彦
しんかわ ともひこ



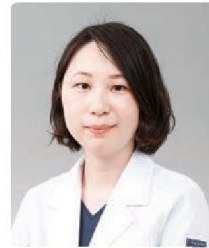
TOPICS

講習会を通して、NICU(新生児集中治療室)がより発展し、地域との連携が盛んになるよう、総合周産期母子医療センターとして活動を行っています。

また、他病院・助産師会・看護協会からインストラクターの依頼があり、講習会を実施しています。

NCPR(新生児蘇生法講習会)は、蘇生を必要とする新生児に対して、適切かつ安全な処置を迅速に実践できるように行う講習会のことです。当院は他施設に比べ、看護師のNCPRコースインストラクターが多く在籍しており、現在看護師9名が資格取得し、活躍しています。そのなかでも当院の特徴として、若手看護師の資格取得者が多く、資格取得のための十分な教育環境が整っています。

NCPR 新生児蘇生法講習会



産婦人科
永井 亜佑実
ながい あゆみ



産婦人科
末永 美祐子
すえなが みゆこ



産婦人科
原 枝美子
はら えみこ



呼吸器外科
小齊 啓祐
こさい けいすけ



脳神経外科
天野 敏之
あまの としゆき



小児科
木村 翔
きむら しょう



小児科
前原 健二
まえはら けんじ



耳鼻咽喉科
増田 智也
ますだ ともや



産婦人科
中野 幸太
なかの こうた



産婦人科
村田 結実子
むらた ゆみこ

連携病院のご紹介

公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院

北九州市小倉北区三萩野 1-12-18
TEL 093-931-7931 FAX 093-921-9836

- 診療科目**
- 外科 ● 胃腸科 ● 内科 ● 循環器科 ● 呼吸器科 ● 心療内科
 - 脳神経内科 ● 泌尿器科 ● 整形外科 ● 放射線科 ● リハビリテーション科

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	—
13:30~17:00	●	●	●	●	●	—	—



院長
岩下 俊光 先生
いわした としみつ

地域の住民の身近な医療機関として、さらには広い地域のの方々からも信頼される病院として、職員一丸となり、病院理念「患者さん本位の医療サービスを提供します」を実現するよう努めています。その実現に向けて基本方針を遵守し、その推進力となる「QCサークル活動」による質の改善をしっかりと継続し、絶えず地域医療に貢献いたします。

地域の方、患者さんへのメッセージ

三萩野病院は、地域住民のための病院として設立されました「公益財団法人」の病院です。皆さまのご支援により今日まで着実に発展してまいりました。今後も地域に根ざした医療サービスの提供を通して、公益の増進に寄与して参ります。

当院について

患者支援センターだより

令和4年7月1日より入院当日の受付場所が2階別館入口に変更になっています。エスカレーターをご利用ください。なお、11時30分以降の入院受付は1階80番患者支援センターで承っております。

また、「院内外の感染予防」「患者さん・ご家族の利便向上」「看護ケアの向上」を目的として、寝巻き、タオルセットをレンタルする「入院セットサービス」を開始しました。洗濯の手間がなく、いつでも清潔なものをご利用いただけます。

入院が決まりましたら、患者支援センターで詳しくご説明させていただきます。

【お問合せ先】 TEL 093-541-1831 (代表)
患者支援センター 内線：2181



登録医のご紹介



藤村医院

北九州市小倉南区下曾根3-5-12
TEL 093-491-7603

診療科目

- 内科
- 消化器内科
- 小児科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	—
15:30~17:30	●	●	—	●	●	—	—



院長 神田 基信 先生
かんだ もとのぶ

当院について

サニーサイドモール反対側の下曾根駅前
で内科、消化器内科、小児科の診療
を行っております。専門のことはもちろん専
門外のことも、おたずねになりたいこと
がございましたら何でもご相談ください。

地域の方、患者さんへのメッセージ

下曾根駅より徒歩3分です。胃、大腸内
視鏡検査は眠り薬を希望により使用し
ています。眠り薬使用時でも駅から近い
ので安心しておいでください。大腸検
査、治療は午前中で終わるようにして
おり、土曜日実施しています。

婦人科・女性内科 みながわクリニック

北九州市門司区柳町 1-9-6
TEL 093-381-0371

診療科目

- 婦人科
- 女性内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:00	●	●	●	●	●	●	—
15:30~18:00	●	●	●	—	●	—	—

※予約検査は、月曜・水曜の午後



院長 皆川 紀剛 先生
みながわ のりたか

当院について

1980年代に義父が門司区柳町に産科婦人科
津田医院を開業し、およそ40年に渡り地域
のみなさんに医療を提供して参りました。これ
までの婦人科の患者さんとともに今後は私自身
の経験を生かして、消化器疾患、生活習慣病、
乳腺疾患も診療するため、医院の名前を「婦
人科・女性内科 みながわクリニック」として
2021年5月より継承いたしました。

地域の方、患者さんへのメッセージ

義父のおよそ40年に渡る地域に根ざした婦
人科医療の志を絶やさぬよう、更年期障害や
月経障害を中心とした婦人科疾患と、これま
での私自身の経験を生かして、消化器疾患、
生活習慣病、乳腺疾患も診療いたします。これ
からは女性の生涯にわたり、広範囲に長期に
健康状態の維持を誠心誠意努めて参ります。

